

令和8年度たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会 開催結果

開催日時	令和8年7月11日(土) 午前10時から午前11時45分まで
会場	調布市文化会館たづくり10階 1002学習室
参加者	利用者 5人 事務局 6人（公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団） 宇津木常務理事 相良事務局長 藤堂企画課長 佐藤文化・コミュニティ事業課長(文化会館たづくり館長) 大割芸術振興事業課長(グリーンホール館長) 常廣芸術振興事業課副主幹(せんがわ劇場館長)
配布資料	・懇談会次第 ・参加者票
財団より各施設 運営・各事業の 紹介	(財団の近況) ・令和7年度各種記念事業(市制 70 周年、たづくり開館 30 周年等)の実施 ・令和8年度以降は、調布駅前広場の完成を受け、グリーンホールと一体的な利活用を推進するほか、中学校文化部活動の地域連携・地域展開に市と連携して取り組む。 ・組織の人材育成を進め、利用者からの意見も施設運営・職員育成に生かしていく。 (施設運営状況について) ・令和7年度の各館の利用率、利用者満足度、たづくり年間入館者数 ・令和7年度に利用者から多かったご意見(たづくりフリースペース、せんがわ予約方法) ・施設の改善についてのご紹介 - たづくり南北ギャラリーの壁面改修、備品更新 - たづくり駐車場のキャッシュレス決済開始 - 各館への自動販売機の増設 ・令和7年度に実施した 30 周年事業の紹介 ・令和7年度消防訓練等の報告 ・令和8年度の施設改修に伴う利用停止等 (グリーンホール事業の紹介) ・令和7年度後半に実施した事業(日本舞踊) ・調布国際音楽祭 2026(開催結果) ・令和8年度に予定している事業(グリーンホールオープンデーなど) ・来年度は開館 50 周年

	(せんがわ劇場事業の紹介) ・令和7年度に実施した事業(ファミリーリー向け演劇「木島平のカロ」) ・今後の上演作品及び地域連携、アウトリーチ (文化会館たづくり事業の紹介) ・令和7年度に実施した事業(つげ義春展、映画のまち調布シネマフェスティバル) ・令和8年度に予定している事業(katakata 展、夏休みの子ども向け事業、無声映画、ちょうふ彩咲祭、テンジシツプロジェクト展、第71回調布市民文化祭など)
利用者からのご意見・ご要望	<u>誰もが快適に施設を利用するためのご意見</u> ●たづくりエレベーターの運行効率が悪いと感じる。低層階用・高層階用などに運行を分けることで、混雑緩和や待ち時間短縮につながるのではないかと。上層階からの利用者が途中階で乗れない状況の改善も期待したい。 ●たづくりエレベーターの待ち時間のストレス軽減のため、運行状況(現在階)が分かる表示など、利用者の利便性向上を検討してほしい。 ⇒たづくりエレベーターについては様々な検証の結果、全体として最適な運行となるよう設定しています。待ち時間が長くなる要因は、運行方法よりも、来館者数に対するエレベーターの台数にありますが、増設は難しい状況です。 ●学習室は利用者が多く、静かな学習環境の確保が重要。映像シアター利用時、受付周辺の利用者の会話が学習室まで響く。「静かにしてください」の掲示だけでは効果が薄い。受付方法や待機場所の見直しなど、運用面での対策を検討してほしい。 ●学習室の学習目的以外(リモートワークなど)の利用が目立つ。ルールが「お願い」ベースになっており、巡回や声掛けなど、ルールを適切に運用する体制を整えてほしい。 ●建物全体について「たづくりまつり2026」開催時のアンケートでは来館者から、「素晴らしい施設」と高く評価する声がある。今後の施設運営の中で、誰もが関わられる飲食・交流の場づくりを検討してほしい。 <u>貸出施設の利用にあたってのご意見</u> ●映像シアターで楽器等を使用する場合の利用条件や室内での配置などを再検証し、必要に応じて運用を見直してほしい。 ●40 人規模の合唱練習の会場として映像シアターを利用できることは大変助かっている。音漏れ対策により利用制限が厳しくなると、大人数で練習できる会場がさらに少なくなるため、利用機会は維持してほしい。 ●南北ギャラリーの壁面が白く改修され、展示が見やすくなった。 ●ホールや会議室などの予約が年々取りにくくなっている。音楽団体は特に練習会場の確保に苦労している。調布国際音楽祭など大規模事業の充実は歓迎する一方、一般利用への影響にも配慮してほしい。

事業内容についてのご意見

●「マンガ家・つげ義春のいるところ展」は非常に充実した展示で、高く評価している。今後も調布ゆかりの文化・芸術を発信する企画を期待したい。調布市には常設の美術館がないため、将来的には調布ゆかりの作家や文化資源を紹介する施設整備も検討してほしい。

●調布市の文化事業や、せんがわ劇場の個性的な取組を高く評価している。音楽・演劇・美術・学習など、多様な活動を行う人が共存できる施設運営を期待する。

●調布国際音楽祭の発展を評価する一方、演劇分野のさらなる充実にも期待している。演劇活動には稽古場が不可欠であり、表現活動を支える場の確保が必要。演劇を通じたコミュニケーションや学びの機会を、子どもたちにも広げてほしい。

●「JAZZ ART せんがわ」は、海外からも注目されていた良質な事業であったと感じているが、今も開催しているか。

⇒「JAZZ ART せんがわ」は、劇場を管理する当財団の主催ではなく、JAZZ ART 実行委員会が調布市等との共催で実施しており、今年は11月に予定されています。

施設整備についてのご意見

●グリーンホールの改修・建替えの検討を進める中で、市民が利用しやすく、音楽・文化活動を支える施設となるよう期待している。

●グリーンホールについて、市では、建替え・民間活用・改修の3案を並行して検討していると理解しているが、建設費の高騰や事業者確保の難しさ、長期の利用停止期間が発生することによる市民の文化活動への影響を踏まえ、建替えにこだわらず、大規模改修も有力な選択肢として検討してほしい。

●施設整備や事業展開では、芸術家や専門家の意見を取り入れてほしい。例えば、せんがわ劇場には稽古場がなく、練習に不便している。行政上の制約だけでなく、「文化にとって何が大切か」という視点で判断してほしい。財団には文化の専門性を生かし、行政へ積極的に提案していく役割を期待する。

そのほかのご意見

●利用者の声を聞く場を今後も継続してほしい。さまざまな立場の利用者と一緒に考える機会を増やすことで、より良い施設運営につながる。